

## 盛岡市環境審議会の意見

令和5年度環境に関する年次報告書、令和5年度盛岡市気候変動対策実行計画年次報告書及び令和5年度盛岡市エコオフィスプラン年次報告書の作成にあたって、盛岡市環境審議会（令和6年11月7日開催）において委員から意見を伺いました。主な意見の要旨は次のとおりです。

### 【令和5年度環境に関する年次報告書について】

No.	ページ	意見の趣旨	回答
1	58-59	太陽光発電システムの設置に伴い、森林破壊や災害等を引き起こす可能性も考えられる。このようなマイナス面も考慮し、行政が事業主と密に連携を取り、地域住民の理解の中で促進していく必要があるのではないか。	市では、再生可能エネルギー発電設備の設置に関する指針を策定し、地域住民と事業者の相互理解のもと、周辺環境等と調和した発電設備の設置を促しており、引き続き、周辺住民の不安解消に努めていきたい。
2	65	クールシェアスポットとして指定されている場所には、建物だけでなく、街中の緑地もある。また、街中の緑地は温暖化適応策になるだけでなく、治水能力の点から防災につながる視点でも大事なので、維持管理は大変だと思うが、保全に取り組んで欲しい。	公園みどり課や道路管理課など関係課と連携を密にしながら、どのような取り組みができるのか検討していきたい。
3	66-67	ごみの年間排出量が減少し、目標を大きく上回り、達成している状況が見られる。町内会や自治会など地域ぐるみの取組もその要因であると思うので、評価したい。これは、ごみをただ出すという消費社会の考え方から、ごみそのものが資源・エネルギーになっているという理解が市民に浸透している表れではないか。引き続き成果を上げるよう期待したい。	—
4	66-67	県内の他市町村でも廃棄物排出量を指標にしているが、達成が難しいと聞こえてくる中で、盛岡市では順調に削減が進んでいる。どのような対策をしているか教えてもらいたい。	人口減少の結果という側面もあるが、市民・事業者に向けて、地域ごとの排出状況に合わせた細かな周知啓発、フードロス対策に取り組んでいる。
5	67	生ごみを都南地域ではコンポスト化しているが、盛岡地域で実施する予定はないか。	都南地域のごみ集積所は小屋型になっており、生ごみ用のバケツを置いてバケツごと回収できるため可能であるが、盛岡地域では8割が折り畳みネット式で道路・歩道を借りて設置しているため、バケツを置くことが物理的に難しい。

6	72、81	アンケートの結果により目標未達成とあるが、個人的には7～8割の人が良いと答えているのであれば、評価できる内容なのではないかと思う。アンケートの取り方は難しいが、農林畜産の適正な営みが自然環境にプラスになるということを市民に周知し理解を得ていくことが、アンケート結果にも反映もされていくのではと考える。	—
7	80	身近な自然とのふれあいの促進について、近郊自然歩道の整備が追い付いておらず、近年はクマ出没の懸念も高まっている。近郊自然歩道の利用が増えれば理解も深まることから、適切な維持管理をお願いしたい。動物公園についても、動物を見てもらうだけでなく、里山の自然を知ってもらうためにも積極的に活用をしてもらいたい。	—

【令和5年度盛岡市気候変動対策実行計画年次報告書について】

No.	ページ	意見の趣旨	回答
8	92-93	国の統計データに影響を受けるもので、市内で排出される二酸化炭素が減少したと単純には言えないとのことだが、その説明だと市が何もやっていないように受け取られてしまう。これまでも市が排出量削減に向けて取組み、実績も出ているのだから、堂々と説明してもらいたい。	—

【令和5年度盛岡市エコオフィスプラン年次報告書について】

No.	ページ	意見の趣旨	回答
9	92-93	温室効果ガス排出量など目標を達成している項目について、市独自の事務事業の成果とは言い難いとの説明だったが、A重油も減少しており、市としての努力が反映されていると思われる。結果を客観的に判断していけばよい。	—

# 資料編